アヒル

山梨大学マンドリンクラブ
編集係

第一号
40.4.24

ようこそ新入生

受験くで苦しめられた後、やっと大学に入ってほっとした時、誰でも歌でも歌ったり、楽器でも弾きたいと思うのが人情です。そんな時、オリエンテーションにおいてサークル紹介があり、あのすばらしいマンドリンの演奏に魅了されサークルに入るならマンドリンへと即座に考えた方だろう。学生諸君に大学に入ったら何か一つサークルに入った方が良いとさんざん勧められた経験がある事だろう。

たしかに大学生活において、サークルの占める比率は大きなものである。学校に出て来て、居寝りしながら講義を聞き、すぐに帰宅こ、う咲気な、学生生活から脱皮して、あり余る程に与えられている自白を十分活用する権利が我々学生にはある。その自由時間のはけ口がサークル活動にむけられ、学生生活にうるおいを持たせる日々を送れたらすばらしいではないか。

このマンドリンクラブはやはり、良い演奏を行うため、部員が一体になって各人一つの楽器をマスターして、それが一緒になった合奏を楽しんでいるのである。だから新入部員諸君も自分のやりたい楽器に取り組んで、あのすばらしい合奏を夢みて練習に励んでいただきたい。

クラブ活動を人間形成の場と考える時、人間形成の時間ですよと誰もそんなものを与えてはくれない。やはりもう社会人なのだから自分が欲する事は自分でおめる方向にと行かなければいけない。大勢で一つのものを作り出して行く時、自分かってな行動は許されないのだ。規律ある集団生活を通して人間は作られるのである。そこにサークル活動の意義というものがある。

ところで苦しい練習ばかりがク
このクラブには楽しい事も一
る。新入生歓迎のピク、大
おける歌声喫茶、夏の合宿、
演奏会、クリスマス会、スケ
会、卒業生送別会、春の合
のようなスケジュールで、なか
楽しい交友関係が得られる機
多くあります。それ故、内
くらませ、ふだんの練習に積
てほしい。
このクラブは、皆良い人ばか
すから安心してついてきてほ
のです。そのうちにこの
の良さがわかりますよ。
さあ新入部員の諸君、お互
術向上に、又お互いをみが
にマンドリンクラブで、意
学生生活を送りましょう。

部説

一斉に野に山に春が訪ずれ心も、うかれる季節となった。我がマンドリンクラブにおいても新入生というかわいい蕾が入って来て、やがて大きな花を咲かせるだろうと、ほんとに楽しみである。だが、マンドリンクラブで花を咲かせるというのは、桜の花や桃の花が咲くのとは、はなはだ違うわけである。花々は咲く時期がくれば、自然の恩恵でみごとに開くわけですが、クラブにおいての花は自然に咲くわけにはいかない。今までにも何人も花を咲かせきずして去っていった人も多いわけです。

なぜならこの花を咲かせるためには、忍耐と努力が必要だからです。きびしい練習に耐えられるだけの忍耐と、自分がこの部にとけこみ、より多くの人と交わり、自分を高めようとする積極的な努力が是非とも必要なのです。新入生には自分の力をためす意味において大いに練習に励み、又人間としての楽しみをもこのクラブにおいてまんきつするよう積極的な努力を希望する次第である。そして沢山の花々が一緒になり、大きな花輪が作られる時に、あのすばらしい演奏がそこに生まれてくるのです。

備品

当クラブの楽器関係の備品は
通りである。
やってみたいと云う者が
ら早くから練習して、合奏
立たせてほしい。
これからも他の多くのもの
入れて増々分野を拡げてゆ
である。

- ○マンドリン（個人持ち）
- ○ギター（個人持ち）
- ○マンドラ（七台）
- ○マンドチェロ（一台）
- ○ベース（一〃）
- ○フルート（個人持ち）
- ○クラリネット（〃）
- ○マラカス（一）
- ○カスタネット（二個）
- ○タンブリン（一個）
- ○トライアングル（一台）
- ○譜面台（三十九台）
- ○各種教則本・楽譜
- ○マンドリン及びギター絃

まあり、命んし習たの種文郊れらめ

ある。/ すー / 間は / されて行 / 向に / 自分 / ない。と誰 / 考え / んで / すばボ / やイ / 合奏 / スタ / 一体 / り。/ りす

ところで苦しい練習ばかりでなくこのクラブには楽しい事も一杯ある。新入生歓迎のピク。大学祭における歌声喫茶、夏の合宿、定期演奏会、クリスマス会、スケート会、卒業生送別会、春の合宿と山のようなスケジュールで、なかなく楽しい交友関係が得られる機会も多くあります。それ故、胸をふくらませ、ふだんの練習に頑張ってほしい。

このクラブは、皆良い人ばかりですから安心してついてきてほしいのです。そのうちにこのグループの良さがわかりますよ。

さあ新入部員の諸君、お互いの技術向上に、又お互いをみがくためにマンドリンクラブで、意気ある学生生活を送りましょう。

備品

当クラブの楽器関係の備品は次の通りである。

やってみたいと云う方のがあったら早くから練習して、合奏時に役立たせてほしい。

これからも他の多くのものを取り入れて増々分野を拡げてゆく予定である。

- マンドリン（個人持ち）
- ギター（個人持ち）
- マンドラ（七台）
- マンドチェロ（一台）
- ベース（一〃）
- フルート（個人持ち）
- クラリネット（〃）
- マラカス（一〃）
- カスタネット（二個）
- タンブリン（一個）
- トライアングル（一台）
- 譜面台（三十九台）
- 各種教則本・楽譜
- マンドリン及びギター弦

歓迎ピクに行こう。

来る四月二十九日、我々マンドリンクラブでは恒例の新入生歓迎ピクニックを行う事になった。これは共になごやかな家庭的なクラブ活動を楽しむため、新入部員と先輩の親睦をはかり、又新入部員には以後の活躍の約束を願うものである。

春の陽の輝く休日、桜の咲く湖畔で。一日は本当に楽しく、すばらしいものとなるであろう。お互いの名前を覚えるだけでも意義があるのではないだろうか。クラブ員全員の参加を期待する。

記

日時　四月二十九日（木）
　　　七時四十分集合
場所　伊奈が湖

合宿

五十人程の参加人員で、万力林一子様の家において五泊六日の合宿が行われた。六時半起床、八時半から十二時及び二時から五時までの練習を行った。ギターパートはさらに六時までの猛練習。激しい！と悲鳴の出る程の日程であった。しかし合宿が終ってまず耳に入ったのが「夏の合宿に比べると自由時間は少なかったが楽しかった」という声が多かった。これは[illegible]にしても技術的に上達したという事が大きく関係しているのではないだろうか。演奏を弾く事、一つの曲を仕上げる事に楽しみを感じてきたのである。練習時間が多ければ多い程、又激しい程、楽しさも大というわけである。

オリエンテーションの演奏のためにと思って合宿に参加した人は少なかったのではないだろうか。各自何らかの目的はあったであろうが……

合宿は成功に終ったが、自分としては満足しきれない、何かがあったような気がした。でもその何か、もオリエンテーションのすばらしい演奏とアンコール"ボヘミアン・ガール"ボヘミアン・ガール"がかわったが、あまりの心よさに、お花見とまで発展していった。ここで"楽しい"という言葉があまりにも多く使われている。でも練習する事によって感ずる楽しさである。やはり技術的な発達がなければ、この楽しさも味わえないのではないか。一年生諸君も早くこうなっていただきたいと、とにかく嬉しさの中に楽しみあり"の合宿であった。（K）

役員紹介

役	氏名
部長	飯田清人
副部長	指野田靖之
書記	篠村恵子
会計	志野原公俊
庶務	上原公子
	数部友華
レクリェーション	安田村子
	中勝
編集係	渡辺哉
	来木子
1stリーダー	松野子
副〃	沢厚
2ndリーダー	五味登志
副〃	鷹初等
ギターリーダー	石野子
副〃	三田好
	細井清彦
ドラリーダー	宇川正大
副〃	前田志文
	上野喬郎
	笠原貫次董
	土井清志
	横小路昭二
ベース	岩崎栄一
フルート	加藤和恵
クラリネット	山岸洸
正指揮者	竹内徹
副〃	斉藤正弘